

平成24年(ワ)第206号、第543号  
柏崎刈羽原子力発電所運転差止め請求事件  
原告 吉田隆介 外  
被告 東京電力株式会社

意見陳述書

平成26年3月27日

新潟地方裁判所第二民事部合議係 御中

原告 高島詠子

私は福島県郡山市からこ新潟へ自主避難しています。

私の大切なふるさと福島は自然豊かでとても美しく、そして水も空気も食べ物もおいしいところです。

その大切なふるさととは、福島第一原発事故による放射能汚染の恐怖に今もさらされています。目に見えない、匂いもない、そしてどれほど危険か解らない放射性物質は、水を汚し、空気を汚し、大地を汚し、すべてのものを汚して、たくさんのもを私達から奪いました。原発事故から3年経ちましたが、計り知れない被害を現在ももたらしています。

福島の桜はとても綺麗です。「三春滝桜」「花見山」「夏井川の千本桜」などでも有名です。今年も桜の咲く時期がすぐそこまで来ています。

2011年3月11日の東北大震災があったその年も、まるで何事も無かったかのように、福島にも春が訪れ、いつもと同じように綺麗な桜が咲きました。その桜の花の美しさに、私は泣きたくなるほどの切なさを感じたのを覚えています。

桜は何事もなかったかのように咲きましたが、私たちは何事も無かったかのように生活出来ませんでした。

原発事故により 私たちの日常は大きく変わってしまいました。

私には3人の子どもがいます。14歳と10歳の男の子と、6歳の女の子です。

私たち家族が住んでいた郡山市は、福島第一原発から直線で55キロのところに

あります。四季折々の豊かな自然に囲まれ、そして水と緑がとてもきれいな街です。私は子育てに最適な場所と考えて、この街に家を買いました。

震災から2年経った昨年も、家の近所の桜がとても綺麗に咲きました(写真①)。見上げると空が見えないほど沢山の花を付ける大木の桜が何本も連なる桜並木を真っ直ぐ進んで、国道を横切り少し歩くと、私の自宅があります。街の中心部に近くても野鳥が集まる自然豊かなこの場所が大好きで、よく子どもと一緒に散歩をしました。老後は孫と一緒に散歩するのが夢でした。(写真②)

今ではこの場所も放射能に汚染され、除染しても危険な放射性物質がたくさんある状態です。公園のあちらこちらに除染前と後の数値を書いた立て看板があり、見た目にはわからない汚染状況の厳しい現実を突きつけています。(写真③)

花も放射性物質に汚染されています。しかし、子どもは普通に触ってしまいます。自然に触れることは五感の発達にとっても良いことなのに、「ダメ！触っちゃダメ！」と注意しなければなりません。そして、汚染されているから危険だと、教えなければならぬのです。

子どもを被曝の危険から守りたい。安全なところで子育てがしたい。せっかく家を買いやっと住み慣れて来たその土地を離れるという苦渋の選択をして、私たちは避難を決め、まだ住宅ローンの残るその家を置いて福島県を離れました。

福島第一原発から少しでも遠くに離れようと新潟に来て、驚いたことがあります。新潟県にある柏崎刈羽原発は世界最大級であること、福島第一原発と同じく東京の電力を作る、東京電力が動かす原発だったこと。また事故が起こったらどうしよう、もうこれ以上、子どもたちを危険にさらしたくないと、大きな不安に襲われました。

福島第一原発の事故から3年経っても、その不安はさらに大きくなるばかりです。豆腐の上の原発とも言われる危ない状態の原発。知れば知るほど怖くなります。それなのにその危険な状態の原発の再稼働の話がますます進んでいます。

原発の安全神話は崩れ去りました。事故後の収束もなされていません。それなのに、なぜ、まだ原発を動かそうとするのでしょうか。

原子力以外で、しかももっと安全に電力を作り出すことができる技術はたくさんあります。それなのに、なぜ、まだ原子力に頼らなければならないのでしょうか。

世界最大級の柏崎刈羽原発で事故が起これば、福島どころの被害では済まされません。危険から住民を守る対策が十分に成されているのでしょうか？たとえ避難経路を確保しても、絶対に避けられない被曝があります。そして、一度事故が起きたら、すぐには収束しないのです。計り知れない被害をもたらし、今の福島のように放射能汚染の恐怖にいつまでもさらされ続けるのです。

綺麗に咲いた桜の花に顔を近づけることも出来なくなるのです。

幸い新潟ではまだ、桜の花に顔を近づけることが出来ます。(写真④)

新潟にも美しく豊かな自然がたくさんあります。これからも子どもが安心して育つところであってほしい。そして、未来ある子どもたちに原子力という危険で人間には手に負えないものをこのまま引き継いではいけないと思います。第二のフクシマを作らないためにも、原発に頼らないエネルギーへの転換を目指す国にしていかなければならない、それは私たち大人の責任だと考えます。

これ以上大切なものを奪わないでください。それが、福島事故を経験した私達の切実な願いです。

どうか、どうか原発の再稼働はしないでください。

まずは柏崎刈羽原発の運転を差し止めてくださいますようお願いいたします。